

GUAM TRAVEL NEWS - No.2

グアムを象徴する博物館・展望台が完成！

グアム政府観光局より、現地最新情報を掲載したニュースレターをお届けします。
今回は、グアムの至る所で目にする不思議な石柱 ラッテストーンにまつわる場所をご紹介します。

『ラッテ・オブ・フリーダム』グランドオープン！

巨大なラッテストーンが海岸に登場！

この度、ハガニアのガバナーズオフィスに、50フィート（約15m）の高さを誇るラッテストーンの形をした展望タワーがグランドオープンしました。

展望台からはグアムの西岸が見渡せ、地元住民からも観光客からも人気を誇る場所となっています。また、タワーと繋がっているホールには、グアムの歴史と文化に関する品々が展示されています。

- ◆アクセス：ハガニア地区、ガバナーズオフィス内
- ◆営業時間：9:00AM-4:00PM
- ◆展望台入場料：3\$
- ◆TEL：(671) 475-4634
- ◆URL：www.guammuseum.com



ラッテストーンとは

チャモロ文化の象徴とされるラッテストーンは、紀元900年から1700年ごろの「ラッテ期」と呼ばれる時代に数多く作られた巨石です。

ハリギと呼ばれる石柱の上に、タサと呼ばれる頭石（キャップストーン）が乗っているのが特徴で、こけし状の形をしており、高さは1.5～2メートルです。

宗教的な意味合いを持つとも、高床式建物の土台とも言われていますが、その実体については、まだ解明されていません。